

発言No.

9

受付No.

9

令和3年6月10日

9時2分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 15 番

氏名 芦谷 英夫

答弁を求める者

(○をつける)

市長

教育長

監査委員

選挙管理委員会委員長

農業委員会会長

固定資産評価審査委員会委員長

公平委員会委員長

発言項目及び要旨 1

1、市民の健康を守り健康をつくる施策について

①市民の平均寿命が県内でも短く、一人当たり医療費も高く、市民の健康の状況はどうか、その要因をどうとらえていて、どのような対策を講じてきて、具体的な成果が上がっていて、検証の結果どのように評価しているのか、課題をどのようにとらえているのか。

2、介護保険制度について

①他市と比べて介護認定率が高く、介護認定者数も高い水準にあるが、この原因を具体的にどのようにとらえているのか。

②第8期介護保険事業計画によると、浜田市は、介護予防に資する住民運営の通いの場などの所数、参加者数が浜田市は少なく、介護予防の取組の弱さが介護認定率の高止まりの原因ではないか。どう分析評価しているのか。

③高齢者クラブ数、会員数とも激減しているが、高齢者クラブなどへの支援が高齢者の社会参加につながり、介護予防にもつながるが、高齢者クラブ、高齢者サロンの拡大にどう取り組んできて、その成果はどのようなことで、課題をどうとらえているのか。

3、協働のまちづくりの推進について

①協働のまちづくりについて、市として、三隅地区の取組が先進例との評価をしているが、まちづくり推進委員会や自主防災組織の組織化、地区計画の策定、保健委員制度など、この取組をどう全市に広げるのか、基本的、具体的な方針はどうか。

②協働のまちづくりには、市民の総参加が必要であるが、自治会町内会への加入について、8割程度しか加入していない、加入については総合窓口課で呼びかけている、と答弁されているが、まず町内会自治会の加入率をきちんとつかみ、次の対策に取り組む必要があるがどうか。

4、新型コロナウイルスの支援制度について

- ①新型コロナウイルスの影響について、給与、営業、農業など所得別所得金額、事業者相談窓口の状況、社会福祉協議会で扱う緊急小口資金、総合支援資金などの状況など総合的、全体的に見て、市民の生活の状況、経済の状況などはどのようになっていると分析しているのか。
- ②新型コロナウイルスの国、県、市の支援制度について、現時点でどのように行き届いているとみているのか、行き届いていないとすればどのような分野、どのような業種なのか、それに対して、今後市としてどのように支援する考えか。

5、具体的な人口定住政策について

- ①これまで出生数を増やす、若い人の地元就職、U I ターンの促進など人口定住策を取り組んできているが、どのような成果が上がっているのか、上がっていないとすればどのような課題があつて、それを越えるためにどのような政策を打つ必要があるのか。
- ②地域プロジェクトマネージャー、国交省「地方応援隊」、地域おこし協力隊などを積極的に受け入れるため、具体的に行動を起こす必要があるのではないか。また4月にスタートした「音楽で地域の活性化取り組む」協同労働の取組を他分野へも拡充し、積極的に人を受け入れる取組を加速する考えはないか。